

記入例

※記載内容に間違いがないか、必ずご確認ください。

令和 年 寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書
道府県民税

この申請書を提出する日をご記入ください。

令和〇〇年××月△△日 大分県津久見市長 殿	整理番号 ××××××××××××
住所 〒〇〇〇-●●●● ◎◎県□□市△△町××番地	フリガナ ツクミ ハナコ 氏名 津久見 花子 個人番号 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 性別 女 生年月日 昭和〇〇年△△月××日
電話番号 ▲▲▲-□□□-◎◎◎◎	

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

個人番号（マイナンバー）をご記入ください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

- （注1） 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- （注2） 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日 ◎◎◎◎年××月▲▲日	寄附金額 ××××××××円
----------------------	-------------------

下記の2点にチェックがなければ、ワンストップ特例を受けることはできません。

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である



（注） 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

ふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で、確定申告や住民税の申告をする必要のない方は「☒」を記入してください。

※確定申告を行わなければならない自営業者の方 及び 給与所得者などであっても医療費控除などのために確定申告を行う予定の方は、ワンストップ特例を受けられません。

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である



（注） 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

ふるさと納税による寄附先が年間5自治体以下である方は、「☒」を記入してください。

※1つの自治体に複数回寄附をした場合、1自治体扱いとなります。

住所 ◎◎県□□市△△町××番地	受付日付印
氏名 津久見 花子 殿	

受付団体名

大分県津久見市